

強風対策のチェックリスト

温室・ハウス

【日常の対策】

内容	チェック欄	備考
施設の周囲に防風垣や防風ネットを設置する。		被害の大きな風向きを考慮する。
基礎や鉄骨部分をチェックし、必要な補修を行う。		基礎コンクリートのひびや鉄骨(パイプ)の錆があると強度が低下する。
出入口の傷みや戸車のがたつきがないか、確認する。		出入り口は日常の開閉で傷みやすい。
過去に被害の遭ったときの修理は完全か、確認する。		曲がった資材等での修理部分は強度が足りないことがある。
施設本体を補強する。		筋交いを設置する。

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
出入口等開口部を補強する。		ビニール等の破れ等も補修する。
被覆資材のばたつきを防止する。		ハウスバンドを締め直す。
天窓を閉めて固定し、風の入り込みを防止する。		換気扇も密閉固定する。
周囲の飛びそうな物を片付ける。		ガラス室では特に重要
強風による倒壊が予測される場合は、パイプハウス等の被覆資材を除去又は切断する。		パイプ等骨組みの保護を優先する場合に実施する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう。

強風対策のチェックリスト

温室・ハウス

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
風が収まったら、作物が高温障害を受ける前に換気する。		雨を伴った場合、換気により湿度も下げる。
被害の程度を把握するとともに、破損箇所を確認・修理する。		天窗等の開閉の作動も確認する。
風により作物が傷んでいたら殺菌剤を散布する。		銅剤等を使用する。
パイプハウス等が倒壊した場合、無被覆での栽培が可能なら直ちに被覆資材や鉄骨を除去する。		作物が倒れていれば起こして、支柱等に誘引する。
施設、作物共に被害が大きい場合は、次作の作付内容を検討する		次年度の作付けまでの期間に栽培できる作物等の作付け準備をする。

- ※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。
- ※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう。